



自治労北海道

発行：自治労北海道臨時・非常勤等職員連絡会議
〒060-0806 札幌市北区北6西7 北海道自治労会館
電話 011-747-3211 FAX 011-700-2053

臨時・非常勤等職員連絡会議ニュース



意見交換会のようす＝2024年8月2日、帯広市・ソネビル

帯広市労連との意見交換会

連絡会議では、当事者同士の職場実態交流や道本部幹事未選出地方本部の解消を

8月2～3日、帯広市で、第3回幹事会と「帯広市労連との意見交換会」を開催し、職場実態や課題の交流をした。

会計年度任用職員は
不安を抱えながら働いている

目的として地方開催の幹事会を検討するなか、帯広市労連の協力のもと帯広市での開催が実現しました。「帯広市労連との意見交換会」には、非常勤職員協議会から7人、帯広市労連から西嶋書記長、道連絡会議から10人、計18人が参加しました。

意見交換では、非常勤協議会として当局交渉を行っているものの言いたいことを言えていない現状や5年の雇用年限が残っていることへの不安、雇止めの前例による苦悩など、さまざまに当事者の思いや職場実態をざっくばらんに共有・交流しました。

道連絡会議からは、全道から当事者が集まる総会や幹事会などの機会への結集などを紹介・要請しました。



谷井組織部長

よろしく
お願いします

次年度も当事者同士の意見交流の場を予定しています！組織化にむけた学習会にもぜひ伺います！ご相談・ご依頼は道本部組織部までお願いします。

組合員の皆さまお疲れさまです！連絡会議の組織活動を続けていくためにも、より多くの仲間の拡大が早急に必要だと感じていた私たちは、一大決心し8月の幹事会を札幌ではなく、帯広市へむかい帯広市労連さんのご協力を得て、当事者の会計年度任用職員さんと意見交流会をし、夜はご飯も交えつつそれぞれの抱える不安・悩み、協議会をこの先も運営していくことの苦労など力のかもったここでしか聞けない生の意見、思いをたくさん聞くことができました。

より良い生活を作り上げるために団結して頑張ろう！こう文字にすると簡単ですが、実際にわたしたちができることは未加入者に対し一人でも多く声がけをし、仲間を増やすこと、仲間とおかしいことにはおかしいと声をあげ、小さな願いごとにも叶えられるように学習をし、交渉にいかせるよう力をつけることです。何からしていいのか分からない時はいつでもご連絡おまちしています。充実した生活にむけて働きやすい職場づくりをめざしともにがんばりましょう！

連絡会議 議長 嶋恵美(留萌市労連)





公募によらない採用の上限回数

撤廃を

遡及改定・勤勉手当 交付税措置されています

2023 秋闘の交渉結果では、2024 年度から勤勉手当を「支給する」が 151 自治体、「支給しない」が 28 自治体となっています。また、支給する 151 自治体のうち常勤職員を下回る支給月数となっているのが 31 自治体、勤勉手当を支給する代わりに、月例給および期末手当を引き下げるなど不適切な運用が 9 自治体ありました。

遡及改定未実施や勤勉手当の支給月数が常勤職員未満であった単組については、財源が交付税措置されていることを改めて当局に訴えかけ、常勤職員との均衡・権衡を踏まえた処遇となるよう会計年度任用職員を巻き込みながら運動を構築し、組織拡大を意識しながら改善を求めることが重要です。

人事院は、公募によらない採用について「同一の者について連続2回を限度とするよう努めるものとする」との記述を削除し、6月28日に「期間業務職員制度の適切な採用について」の一部改正を通知しました。

この改正を受け、総務省は「会計年度任用職員制度の導入などに向けた事務処理マニュアル（第2版）」を改正し、国の期間業務職員の取り扱いと同様に記述が削除されました。これまで国の取り扱いを参考にして、公募によらない採用の上限回数を2回（「毎年」および「4回まで」も同様）までとしてきた自治体については、交渉で、総務省マニュアルの変更を契機に、不安定雇用の解消と人員確保の必要性を訴え、

単組報告

仲間づくりのため、各単組で工夫し活動内容を紹介するチラシやニュース、案内文をつくっています！写真や手書きなどの工夫や、労働組合って？どんな良い事ある？など読みやすくわかりやすく説明しています。今回は、札幌3単組をご紹介します！

札幌病職

～札幌病職単組の活動内容～

本単組の特色
活動内容の共有と協働
※学習会
仕事のスキルアップやフレッシュに！
※交流会
多くの人の「健康」との交流の場

校務助手部会

労働組合って必要なの？って、思いませんか？
団体交渉

札幌市職連

【会計年度任用職員制度】を知っていますか？



上限回数撤廃を求めることが必要です。「会計年度任用職員制度の整備状況チェックシート」の活用を！